



雜言俗語
聖繪卷本



雅言 俗語
羽立 檜卷末

○錦繡

○大倭錦 マハナニキ 津具 ツグ 三つ ミツ 色 イロ 鶴頭金欄 ツルガウラ 長 ナガ 系 ケイ 寺 テラ

七星 シツホシ 丸 マル 花 ハナ 兔 ウサギ 一 イチ 花 ハナ 鷹 トビ 来 キ 寺 テラ 一 イチ 岐 キ 花 ハナ 碇 イカリ 一 イチ 岐 キ 魚 イサ

逢 アヒ 板 イタ 一 イチ 岐 キ 先 マテ 一 イチ 岐 キ 入 イリ 遠 トホシ 岐 キ 峯 ミネ 我 ガ 切 キ 寺 テラ

城 シロ 下 シモ 寺 テラ の 宝 タカラ 如 ニホシ 大 オホ 師 シ の 袂 タビ 沫 ホ の 銀 ギン 閣 カク 寺 テラ 地 チ

大徳寺 白地石 鑊銭 切せに花を 銀大鼓 たのこ

角龍 永親堂の宝物 達仁寺 かき花の唐 安果唐 唐地

古金 欄牡丹をまづるの唐 糸屋 切山伏の 印金 やう日かき坊

金沙 織部紗 糸竹 唐下と 切紗屋 切博せ 印

雅金屋 糸竹 草子 純子 有樂 純子 糸竹 糸竹

漁倉 とんす 紹酔 とんす 清お 切梅の 糸竹

場切 切室の 時珠 光とんす 佐吉 とんす ばら

金 糸竹 切 綸金 とんす 好 は 七糸 大牡丹

小牡丹 鳥雀 定家 はば 蜀江 奥福

切 糸竹 宝珠 とんす 銀欄 とんす

○唐木

鐵刀木 糸竹 紫檀 糸竹 黒檀 糸竹 花欄 糸竹 多羅樹 糸竹 白檀 糸竹

○草

皮 糸竹 草 糸竹 莫臥爾草 糸竹 波斯草 糸竹

印帝亞 糸竹

地久 胡徳系籠子し 爰手是まて右方にて天王

○菩薩 胡飲酒盃あり 蘭陵王寺方り 還城系面からりき

○又 純の面 採サハミマウラフ 採ア 採ニ

○又 純の面 採サハミマウラフ 採ア 採ニ

○有 黒色 父尉 延命尉者 小面 深女

孫次郎 住吉乙 泥眼 生成 般若 破尉

朝日尉 筋男 耶那男 大癒見 小癒見

大飛出ヲホトビデ 小飛出 鉤眼 弱法師

○能狂言

○烏帽子様 末廣 うばが様 糸一 相合袴

今と糸 相合糸ハ 福フク 糸イト 八幡ハチマタ

花子 素袍落 通圓 文系 繩索イト 叔母

酒 清水鬼 義太夫名 八句連系 ばり女

栗やま 腰祈 氏盗人 沟孤 唐相撲
名取川 福の神 三人も懸 梅志くろ 鳴
字多編

○碁 坐居 手詠

衝ウツメル 幹ツグ 約ウツメル 飛トビ 割ワ 粘ツク 頂カミ 觀ミ 関セキ 抄キル
断ツグ 行ユク 擦スグ 點トキ 跨フク 夾クサ 抄ヒ 辟ウツメル 刺サシ 薄ツグ
撲ウツメル 槃ヒ 結ムス 尖ツク 縛ムス 門カド 征ヒ 却ウツメル 盤ヒ 咀ツグ

柳ヤナギ 仇ヒ 闕クハ 硬節カタシ △ 贏ウツメル 碁ヒ 子勝コカチ 輸ヒ 日ヒ 賭持碁カチ
助言 互先 定先 井目 綴ムス 九

○将碁

○少将碁 和将碁 中将碁 天竺将碁 大将碁
大々将碁 摩ヒ 鷄太将碁 平午 對馬 上 先手
後手 手見碁

○雙六 スゴク

○重一デウイチ 重二ヂウニ 朱三シュサン 朱四シュシ 重五ヂウゴ 疊六シヨウロク 塞サイ 穀同

筒ドウ 双フタ 子コ 罪ツミ 重食ヂウシキ
双のちりり 攤タナ
博

○雜遊 雜混

○投壺トウウ 一第廿第廿十第廿十第廿十 貝合ヘイカウ 歌貝カヘイ
考

合カウ 彈ダン 碁イ
源氏 雜想ザクソウ 韻イン 室シツ

文字モノジ 須ス 蘭草ランソウ 花ハナ

人まよひまよひとかくりお出て合と勝負とあり
五月五日百子と蘭草とこれ前楚歳時記に傳

○蹴鞠 卿家 苑多井 雜伎

○四本懸 松四本これ四家 松二本松お紫これ松柳

お紫日地下 松三本紅葉 垣守 恒守 恒守 恒守

ここい 大 折折 友木友木

根枕 負負 上上 救救

序序 目代 長

者草 猪大明神 鞠道大は松本村

○七小所

○双紙洗小所 雨乞ー通ー清水ー

卒都婆ー鶺鴒ー関寺ー

○七種菜

○北行 芥 鼠麴草アギマウ 繁蕪ハユビラ 佛座 北スギナ

蘿蔔スライロ

○秋七種花 下葉

○萩 尾花 葛花 梅子 女郎花 藤袴

朝貌アサノモ

○茶 茗目チノメ

○宇治茶 柘尾茶 信樂茶シノラキ 近江 鹿溪茶コケイ

○の 芦久保茶アサノ 川上茶カミガハ 下書茶シモガキ

仙靈センレイ 茶チ 手焙テホ 手焙テホ 手焙テホ

新茶 古茶 茶チ 撰ヨリ 夏切茶

○酒

諸白伊丹大坂伊丹富貴見酒 南都忍冬

菊か煉か持多持多三平三平佐後尾道日麻地こ

保命少以老西采盛さら由 梅か葡萄ブドウ

枸杞クキ桑クサ豆淋マメ味淋ミ屠蘇ト蘇ス治シ馨シ

燒酒シヤウ醴リ一夜酒 茶藤瀝 白酒 采雪サユキ

雞印酒 薯蕷イモ生薑シヤウ隅田川エダ醪カ取ト

糟カス新酒 古キ金粉キン覆盆子イチゴ

○饅

公仕餅キン珠光キョウ椿チ抽チ外郎ゲイ醒井サ球マ

鶉チ胡麻コ山椒サン枳チ寒燒餅カン京丸山キョウの寮ノ寮ノ

丸山マルの寮ノ琥珀コハク紅梅ベニあメき

○古錢

半両 五銖ゴ貨泉 布錢フ男子オ海ウミとト又マタ婦メ人ヒトとト佩ウきキ

元通宝一々と一沙目 嘉之沙いかに 永樂通宝日

和同開珍 大黒沙 蛭子沙 駒引

題目一 念仏一 長命富貴 伊勢宮沙

金沙 浪一 角一 新

調百 者百 錢坐 鈕

○忌 詞いせ 宮い 月い

佛と中子 経ヲ深紙 塔ヲ阿良岐 寺ヲ尾草月

僧ヲ髮長 尼ヲ女髮長 弁ヲ片膳 光ヲ奈保留

病ヲ夜須美 哭ヲ鹽垂 血ヲ阿世 拵ヲ梅穴 蘭

墓ヲ壞 堂ヲ香燄 優彼女塞ヲ稱角筆ニ

○鷹

白鷹 足之鷹 弟一 鷄漢語抄ニ波之太賀又

兒鷄 雀鷄 雀鷄 雀鷄 小雀

鷄ハコ 鷄ハコ 鷄ハコ 鷄ハコ 鷄ハコ

月の輝きと峰の山峰を望む所の山後大能の如きなり
 師網とありて云く云く。○富家の家
徳山井の繁くしてとて云く
 仁徳幸五十年三月の内空茂田
 のてり多き子とて本館の如きもの
 〇酒ノ君 百派の如きと云
 多き持の如く 中納言成
 言成れ 〇富家 豪家 壇亭 膏梁

殿 殿造 閣 水 樓 俗ニ階 形 亭 山 水 林
 庭中の 臺 釣 月 帳 臺 妻 戸 固 玄 關 圍 房
 橋と云

臥房 欄干 納戸 出居 重鑑 鍊屏 築牆
 築山 假山 水門 涼棚 數々の屋 別業
地
 〇負家 田家
 子 莊 日 上 山 壯 日

〇草屋 一亭 一舎 一堂 一菴 茅屋 白屋
 破屋 北敵屋 柴門 一扉 蝸舎 一廬 寒窓
 尖頭房 姉屋 葉家 植生お屋 四阿 萱軒

子の戸 柴戸 繩樞 仮庇 竹篁垣 延屏風
女狐の慶

○旅舎 旅店 遊ハ旅店の飯食と云
今格巻を云

○館驛 驛樓 候館 傳舎 西鞆寓

○郭裏 遊女町

○女肆 花街 柳巷 青樓 娼家 娼門上

娼婦 娼妓 胡姬 粉頭 の祿を云 遊女 の祿を云 奴女 の祿を云 宿 遊仙窟

傀儡 古小の奴舎 女郎 室東 傾城 今遊女を云 とやま

艶女 いと山 自拍子 流身 浮身 越の体をと云

白人 赤き人 忘 山陰伏見乃曲部 花車

又石山系分藩記 小志ハなく云 又日名 今何と云

門下通字 ハハ 吉原 今何と云 舟 偽夫 波方揚屋

事 ハハ 舟 ハハ 舟 ハハ 舟 ハハ

○夜装 和名 夜装 和名 夜装 和名 夜装 和名

かき
とふ

○音曲 邦曲 俳優 戲遊 弁 俳優

○冷泉 綱戸 平家 註ハ一番二番一ツハ傍ラハ二匹ニ成
ト云テ家ハ一句ニ与ト云

浄瑠璃 況性 哥念仏 哥みあ文

六字あなま 水師の中は女は多し
あなまは中は女は多し
あなまは中は女は多し

公和太夫 後修を云云
浄瑠璃の根元 信太 紀前 外記

古佐 虎屋永雨 中 河東 一中

文弥 播磨 義太夫 浄瑠璃の根元
多道松門たう

國太夫 倭師 小平太 江戸 俳優
乃巧より

山本 浄瑠璃 浄瑠璃の根元
の先祖 浄瑠璃 浄瑠璃 江戸

浄瑠璃 浄瑠璃の根元
の先祖 浄瑠璃 浄瑠璃 江戸

浄瑠璃 浄瑠璃の根元
の先祖 浄瑠璃 浄瑠璃 江戸

浄瑠璃 浄瑠璃の根元
の先祖 浄瑠璃 浄瑠璃 江戸

浄瑠璃 浄瑠璃の根元
の先祖 浄瑠璃 浄瑠璃 江戸

○忌日異名

初七日	初七日	二七日	以芳	二七日	泗水
初七日	初七日	二七日	以芳	二七日	何經
暗命	五七日	法明	六七日	檀弘	七七日
阿波	五七日	小歎	六七日	前至	七七日
百箇日	百箇日	一周	小祥	二年	大祥
七霜	十二年	遠芳	十七年	慈明	二十二年
超祥	十二年	寂治	十七年	慈明	二十二年
二十七年	大士	三十二年	本然	五十年	圓滿
			清淨		

○紛々々々

六十年
 初七日
 暗命
 阿波
 百箇日
 七霜
 超祥
 二十七年
 三十二年
 五十年
 初七日
 二七日
 以芳
 二七日
 泗水
 何經
 四七日
 大歎
 休新
 大祥
 七年
 慈明
 二十二年
 本然
 圓滿

いびくびタリタタ
ゆる又ゆるやどハ
云河めら
りやびハ
かたけと
ちる孫まハ
いぬ

○助語 和辨

聊イナカ 俗イナカ 詩イナカ 幾イナカ 不審イナカ 徒イナカ
訝イナカ 煩イナカ 香イナカ 争イナカ 息イナカ 甚イナカ 果イナカ 殆イナカ 長イナカ
嚴イナカ 徐イナカ 且イナカ 抑イナカ 多イナカ 少イナカ

熟イナカ 宜イナカ 寧イナカ 轉イナカ 耳イナカ
蓋イナカ 豈イナカ 敢イナカ 恰イナカ 豫イナカ
徧イナカ 更イナカ 數イナカ 即イナカ 頗イナカ
既イナカ

○言語 雜混

奔宮イナカ 奔院イナカ 妹イナカ 妹所イナカ
御帶イナカ

印可イシカ 安忍イブリン 日本ニッポン 綾アヤ

儀イハヒ 回カエ 儀イハヒ 牲ニヒ 伊勢イセ 家童ケドウ 入綾イリアヤ

勇魚取イサナト 儀イハヒ 牲ニヒ 伊勢イセ 伊勢イセ 伊勢イセ

世様ヨダマ 免缺イグチ 今様イマサマ 今様イマサマ

犬イヌ 今様イマサマ 今様イマサマ

肆イチカラ 板井イタヰ 岩井イワヰ 岩間イワマ 岩間イワマ 水ミヅ

石觸水イシツクミ 寂イソモ 可カ 畏カシ 可カ 畏カシ

和目ワメ 是當イデタウ 敦園イツン 妨嫌フサセ

音呼ネコ 揚馬ヨウバ 犬追物イヌオヒモノ 犬追物イヌオヒモノ

入方外イリホガ 依稀イキキ 穎イヒル 射向イムケ

漏刻ロウコク 囉イ 奔イ 駱馬ロクバ 耳ミミ

六時ロクジ 讚イササ 麓ハヤヒ 祝イハヒ 半額ハンガク

撰撫センブ 花ハナ のノ 加カ 葉守ハモリ 神カミ 樹ツキ 冰ヒョウ

依イ 稀キ 囉イ 奔イ 駱馬ロクバ 耳ミミ

祝イハヒ 系ケイ 文ブン 半額ハンガク 葉守ハモリ 神カミ 樹ツキ 冰ヒョウ

花ハナ のノ 加カ 葉守ハモリ 神カミ 樹ツキ 冰ヒョウ

放埒ハラク 挽歌カ ぼろボロ 小端コヘ

速吸名門ハヤヒクナカド 腹黒ハラクロ 法眷ハツケン 友トモ 反ヒ

魂香ゴニカウ 早緒ハヤオ 腹黒ハラクロ 法眷ハツケン 友トモ 反ヒ

兄弟ハライカラ 初瀬祈ハツセノイノリ 乘馱ハイゴ 最初馬ハツシロウマ 疾風ハヤカ

今イマ 殷詩インシ 靈レイ 藐姑射ミョコカセツ 花竹カチク 花竹カチク

方頭ハウダウ 無情ムジョウ 任法ニホフ 湖海コカイ

贊サン 如意ニギ 女御メカミ 女孺メコ 湖海コカイ

潦ラウ 如意ニギ 女御メカミ 女孺メコ 湖海コカイ

甚多ニヒシ 二半ニハン 一の所イチノトコロ 女御メカミ 女孺メコ 湖海コカイ

率ニラフ 海本ウミノ 女御メカミ 女孺メコ 湖海コカイ

植ウエ 任弱ニジヤク 逃水ニゲミヅ 暮露クロ

北面武士キタメンブシ 黔眉クワンメイ 蒙軍人モウケンジン 屠ホ

取ホ 錨矢倉ボラヤツクラ 脯肉ホニク 屠ホ

祝イハヒ 祝イハヒ

今い中子行 ホル 花毛 ハナモ 八十と花毛と ボウ 花毛 ハナモ 鳳母 ホウモ 鳳母 ホウモ 方老と云なり

投 ホル 鳳丸 ホウワ 和漢三才五食鑑よりして性自とらんぶより貢一

なるい 後石竹木とくく山波のく 蓬菜 列仙傳本朝や蓬菜と称

るのりりま 蓬菜 日本傍造り

く西の 蓬菜 富士 暖風 熱田 日本 灵應寺 加賀 白山 (六家抄注)

住吉 (穂 梓 木) のよのこ 厭 口盛 ノ馬皮 浅小のノ 外繫

灵地小比 厭 口盛 ノ馬皮 浅小のノ 外繫

吟して云 厭 口盛 ノ馬皮 浅小のノ 外繫

入ら小直せて 刀自 命色 屯食 下膳

セ 刀自 命色 屯食 下膳

音 直宿 夜とる 屯食 下膳

多 直宿 夜とる 屯食 下膳

如 毎本 花 暹 点 骨 車

々 毎本 花 暹 点 骨 車

々 毎本 花 暹 点 骨 車

々 毎本 花 暹 点 骨 車

々 毎本 花 暹 点 骨 車

岸著 偏腹痛 文割 紙手 今押命 潜女

光棍 何童 又川 蘇也柳川

蓬 文選 金本中臣 叔木の 爵禄

才人の名 麻猪 起村 憑話 せん 嗽

苛室 我の 早添 女のかの 獨眼人 将門 神

戒檀巡 信外善 狩衣 衣 布衣 相後 疾

督長 東鑑 布衣 耀渡 時の 附屋

麻火屋 伝麻 頃 鵲胡 甚大

下あこ 船舟の 上 遠部 の 藻 袖

目連 風と 風折 烏帽子 立之 卯の 風

浴室 浴玉 和尚 長老 世計 酒 中月 十音

縁水 汁 丁 又 男丁 下 居 仕 下 夜 這

人行 蓬 生 夜 一夜 天 和 物 又 昨夜 五 黄泉

人 行 取 蓬 生 夜 一夜 天 和 物 又 昨夜 五 黄泉

忠告を 訛りて 四支 口方 田文 檢比の帳

田夫 豊大 凡人 松明 ついでに 水取のしり

毛 軍の 團 棚牛 相厨子 答

知 天手 壘 竹 蘭生 大眼

葦子 婿 頼馬 風 敵犯 人の後 仙伝

墮落 俗 多 小舟 言 雀

侍室 池 江 法 妙 妙女

集 多 集 猶 不 足

天子の 結婚 多 川 妙 妙女

後 流 多 澤 妙 妙女

新 以 鷲 首 藤 民 書 札 妙 妙女

修 終 袖 几 帳 驚 破 妙 妙女

今 之 作 麻 生 坐 言 妙 妙女

美 曙 妙 妙女 宗 廟 續 版 属 託

根問 ねもん ねんりくろくろくも云根と云
粘 ねば ねばり
粘 ねば ねばり

拾遺集 しゆいしふ 拾遺集のよきと云ふ
倭人 わじん 倭人のあはれ

南部 なんぶ 南部
名 な 名
名 な 名

流目 りゅうめ 流目
雜 ざ 雑
仲人 なこうど 仲人

内羅 ないら 内羅
名 な 名
名 な 名

信天 しんてん 信天
名 な 名
名 な 名

向火 むかひ 向火
名 な 名
名 な 名

馬長 うまなが 馬長
名 な 名
名 な 名

世東 よとう 世東
名 な 名
名 な 名

馬餞 うまげん 馬餞
名 な 名
名 な 名

馬命婦 うまのみこと 馬命婦
名 な 名
名 な 名

名 な 名
名 な 名
名 な 名

胸満ムチヲミ 更ス 今もが 侵ウチカス 必ツタカク 末ツタカク 必ツタカク 屈ツタカク

定家サダノカ 入イ 枕マク 遊俠ウヂノキ 首ウヂ 正マサ 後ウヂ 夫ウヂ

柚女ウツメ 雪ユキ 板イタ 伊物イモノ 産ウツ 養ヤシ 伊物イモノ 伊物イモノ 伊物イモノ

末ウツ 伊物イモノ 産ウツ 養ヤシ 伊物イモノ 伊物イモノ 伊物イモノ 伊物イモノ

歌枕ウタマク 有ウケ 卦ケ 裏ウラ 觸ツ 伊物イモノ 伊物イモノ 伊物イモノ

魚イサ 鮫サマ 人ヒト 物モノ 志シ 鮫サマ 人ヒト 物モノ 志シ 鮫サマ 人ヒト 物モノ 志シ

曲マク 海ウミ 魚イサ 人ヒト 物モノ 志シ 鮫サマ 人ヒト 物モノ 志シ 鮫サマ 人ヒト 物モノ 志シ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ 字ジ 義ギ 鳥トリ 鬼キ

口ロカキミシキ 悔ウレ 厨ク 其シ 基キ 寺ジ 々々
(後述よりあつた友とあり又

川カハ 寸シ くク よヨ とト りリ ずズ ずズ 火ヒ 院エン 布フ 行コウ 火ヒ 仕シ づズ
(井代巻養の字とくると

競クハシ 来キ いイ セセ 博ハク 階カシ 初ハツ 巧ク 尺チ 尼ニ 尼ニ 原ハツ 々々
是れ通字リ

狗ク 賓ヒン 小コ 角カク 軍クン 場キヤウ 甫フ 小コ 児ニ 子シ 純ジュン 頑ゴン 子シ 子シ 々々
は伊物まるくくありぐるにのほくあくとく

西セ 必ヒ 小コ 角カク 甫フ 口コ 食シキ とト 頑ゴン 子シ 子シ 子シ 々々
久々なるに 皆代を

くけのふクケノフ 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々
の云察の字はくくはとくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

火ヒ 車シャ 峡キヤク 山ヤマ のノ 口コ 揚ヤウ 宮キヤウ 々々
山の口 揚宮

山ヤマ 懷ヰ 野ノ 渡ワタ 舟フネ 自ジ 横コウ 人ヒト 極キョク 人ヒト 々々
野渡と舟自横 人極人

教キョウ 糸イシ 香カウ 物モノ 衆シユウ 業ケツ 師シ 山ヤマ 僧ソウ 々々
衆業師 山僧

日ニチ 本ホン 相サウ 智チ 国コク のノ おオ 夫フ 々々
日本相 智国のお夫

山ヤマ 賊ソク 地チ 守シウ 宮キヤウ 月ツキ 名ナ 々々
山賊 地守 月名

宮ミヤ 女メ のノ 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々
宮女のひぢはあつたくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

あア 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々
あ 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々

山夫 山姑 山姫 和俗 哉覽

矢張 止期 不明 穠米

大和女 十寸後 眉根 痒

丸通神 志心 匠 枕 飛 供

前渡 志心 吹 吹

糸 糸 糸

丈夫 客人 客人 客人

速 随意 論 論

瞬 瞬 瞬

番木 敬 敬

正首 遊仙 肉刺 病後

栄 栄 栄

中 連 連 羞 明 舌 支 扶 疎 枝 略 地 俗 推

疔 疔 疔

結 馬 結 繩 削 氷

源 源 源

夾竹桃 ケウチク を代名詞に用いたもの中山傳心録

玄妻 ゲンサイ 左傳 外在 令山 合山 遍匝頭西 遍匝頭西

墨盛 クニモト 結助 結助 蹴坐 佛の足 咲々 咲々 見逆鱗 帝王

元帥 ゲンダイ 遺唐使 遺唐使 廿勢 日本 疾犬 疾犬

文車 フグル 臥猪床 スノノ 仏相 佛相 金剛經 金剛經

佛孫 佛孫 不儻 不儻 不敏 不敏 儀 儀

らち らち やぐら やぐら 懐 懐 風 風 都 都 性者 性者 芥 芥 香 香

負何 負何 嘆 嘆 嘔 嘔 腰面 腰面 不了 不了 附 附 節 節 擗 擗 立 立

將水 将水 の水 の水 隠口 隠口 心 心 芝 芝 名 名 反 反 紅 紅 圍 圍

小舎人 小舎人 胡 胡 砂 砂 吹 吹 胡 胡 波 波 女 女 香 香 山 山 谷 谷 逢 逢 江 江 湖 湖 基 基 敵 敵

膠柱 膠柱 胡 胡 波 波 女 女 香 香 山 山 谷 谷 逢 逢 江 江 湖 湖 基 基 敵 敵

胡 胡 砂 砂 吹 吹 胡 胡 波 波 女 女 香 香 山 山 谷 谷 逢 逢 江 江 湖 湖 基 基 敵 敵

胡 胡 砂 砂 吹 吹 胡 胡 波 波 女 女 香 香 山 山 谷 谷 逢 逢 江 江 湖 湖 基 基 敵 敵

胡 胡 砂 砂 吹 吹 胡 胡 波 波 女 女 香 香 山 山 谷 谷 逢 逢 江 江 湖 湖 基 基 敵 敵

胡 胡 砂 砂 吹 吹 胡 胡 波 波 女 女 香 香 山 山 谷 谷 逢 逢 江 江 湖 湖 基 基 敵 敵

ねまの夜 ヨシノ 渾天儀 日目のらんり 胡椒 コショウ

巾 ヨシノ 大カ ゴクイキ 黒牡丹 コウボクタン

蒜 アジ 越 コト 混沌 コト 徑 ヨシノ

小道 コソウ 穀星 コクセイ 小迫合 コゼリアヒ 好華 ヨウカ

人 ヒト 東方 トウホウ 聲 コエ 媚 コト 曼 マン 柝 ツク

拱 コウ 木居 キイ 特牛 トクウ 比及 ヒキ

殿上 テンジョウ 出居 デイキ 蝶字 テウジ 花字 カジ

自 ジ 母 モ 須 ス 麻 マ 尔 ニ 方 ホウ 觀 カン 面 メン 令 コウ 令 コウ 令 コウ

東坡 トウパ 侍 シ 天 テン 珠 シュ 絲 シ 魚 イサ 手 テ 徽 キ 把 バ 鉞 ケン

殿堂 テンドウ 重食 チュウシキ 出會 デウイ 桑 サウ 屋 ウチ

街 ガイ 街 ガイ 街 ガイ 街 ガイ 街 ガイ 街 ガイ

調 テウ 北 キョク 宋 ソウ 昭 ショウ 供 コウ 拈 ニエン 拈 ニエン 拈 ニエン

扇 セン 扇 セン 扇 セン 扇 セン 扇 セン 扇 セン

又 マタ 又 マタ 又 マタ 又 マタ 又 マタ 又 マタ

八倡舞のく用の核扇ハ友女のくんとあやつぬり又枝扇くハ
 法師のぬまろく移ぬけりけりものもとりてやいと割す風を
 けりぬの川と流るるあまろく地縁のころろとあまろく又近世金地
 根地おあつてせ割多し一も扇ハま日の社人とれとてころろけり
 うらこし福も家記ころろとてころろ如ハ大器のぬくハ土舞の進退
 とをくえ指よりころろとて矢とてころろけり風をよひき故ころろとて
 醫工似くころろとてころろ又教をころろとて
 又浪ころろとてころろとてころろとてころろとて
 とぬころろとてころろとてころろとてころろとて
 起く水中又海をころろとてころろとてころろとて
 婦人え泥丸名カザリ赤丸名カザリ淺塔名カザリ窶其身後太平
 出又塔様もあはれもあまろくハ
 てあくあて列ころろとてころろとて

里ハ波々としてころろとてころろとてころろとて
 のころろとてころろとてころろとてころろとて
 物とてころろとてころろとてころろとて
 四角西ころろとてころろとてころろとて
 増韻 田と尾さかると月ひちとてころろとて
 あまろくとまのころろとてころろとてころろとて
 万のころろとてころろとてころろとて
 回帰の連俳 蹉跎 盛衰 猜言
 浮岩 味且 味爽
 可憎 相清 賈 罪のころろとてころろとて
 白地 杜津暫の字と別ころろとてころろとて
 天離

一説は元来ひびく氣のよきそんばのからとくものしりごと
あやふくしてあやふくしと云しなり(和漢三才常樂)と云

湖流改ゆくらの文字寛中くらの文字正字まじりたるをあらうと云(和漢三才)
頼独たれひとり

念オキ五イ綱ア引キ方フ下ア火カ火カと云イ上ア句ク終ヘ盛セ衰スイイイイイ盛セ状ジョウ

練ツツ求ア食カ多タのノ冊マとト鳴ア吟イいイいイいイ所ソ有ユ吐ア方フ

何ナニ房フウ沙ア著ツ保ホるル沙ア著ツ保ホるル何ナニ曲ク雅ヤ

浮ア雲ウン左サ右ウ詩シ丁テ三サン連レン詩シ作サク朝ア魚イサ夕イフ菜サイ方フ彼カ奴ヌ

阿ア他タ弥ミ喧ケン周ウ章ショウ業ア酌ダク不フ周ウ風フウ如ニ小コのノ才サイ柱チュウと云

わらうオ字ジと云ト枕マク反ハ逐チク揚ヤウくクのノ々々岩イハ醜ウくクるル曹サウ司シ女ニョ

のノきキ如ニ五イ月ゲツ擗ヘキ日ニチ夏カまマ枕マク月ゲツ擗ヘキ日ニチ夏カまマ枕マク月ゲツ擗ヘキ日ニチ夏カまマ枕マク

中ナカまマおオ催サヒ馬バ樂ラク住ジ古コ貞テイ物モノのノと云ト傳デン蛙カ下ゲ風フウ更メイ列レツ

吹フク風フウと云ト央オウと云ト古コめメうウきキオオ芳フヨウ性セイさサいイりリびビけケ又マタ牡ウシ鹿カ

引ヒキ道ミチ祖ソ道ミチのノ神カミ再サイ進シン相サイ府フ蓮レン樂ラクのノ名ナと云ト昔セキのノ王オウ儉ケン故コ

百ヒャク文モンと云ト今イマ早サイ苗ボウ食シキ農ノウ家カ草サウ葉エフ時トキ元ゲンのノ原ハラ

投テウ接ケツ間カン左サ近キン伶レイ征テイ流リウ離リ座ザ具キ座ザ

のノひヒと云トゆユめメりリササススラライイ伶レイ征テイ流リウ離リ座ザ具キ座ザ

雪花菜

騏驎竭

（流志支那の暗

祇陀林

司の名

曲录

木戸

関戸芝居... 木戸の字と恐れ... 木戸

魏

魏の蕩々

俗あやうく

霧

霧主人

大

大の魏

俗あやうく

木遣

邪許木字... 木遣

間道

間道の吟味

我慢

密理

木居

北

北の展

競

猿竹の年

竹馬の友

端正

仰山

虚方附

沐

不意

莫

鞞

（万）

（万）

女の女... 女の女... 女の女...

湯谷絶谷... 湯谷絶谷... 湯谷絶谷...

由布佐礼... 由布佐礼... 由布佐礼...

目綾... 目綾... 目綾...

目成... 目成... 目成...

相... 相... 相...

妻... 妻... 妻...

めハ女メノメノ不ス眼メカシ拈ヒ野客ノノカサリシ綿ワタ密シ他念ヒタシ醉サケ酩サケ酩サケ

綿織ワタオリの女巧メカシ明星メイセイ日ヒ子コ追ツリク星セイ俗ソク子シの明メイ眩人ケンジン者シヤ

漢カン各ガク妙音講ミョウオンコウ風流フウリウ伊物イモノ兼カミ代衣ダイイ山ヤマ代衣ダイイ

衣架イカ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ

御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ

共ニ為シ夫婦フウフ共ニ為シ夫婦フウフ共ニ為シ夫婦フウフ共ニ為シ夫婦フウフ

天子テンシの御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ

子女シヤウの木乃伊キノイ山都ヤマツ御幣ミヒ冷ヒヤ山陵サンリョウ水ミヅ駅エキ

頻浪ヒンナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ

神田カミタ巾箱キンコウ和色ワシキ乱画ランガ相国サウコク下シタ差サシ履フキ履フキ

職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ

御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ御方ミカタ

共ニ為シ夫婦フウフ共ニ為シ夫婦フウフ共ニ為シ夫婦フウフ共ニ為シ夫婦フウフ

天子テンシの御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ御幸ミヨキ

子女シヤウの木乃伊キノイ山都ヤマツ御幣ミヒ冷ヒヤ山陵サンリョウ水ミヅ駅エキ

頻浪ヒンナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ白浪シロナミ

神田カミタ巾箱キンコウ和色ワシキ乱画ランガ相国サウコク下シタ差サシ履フキ履フキ

職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ職神シキカミ

とかして
新発意 ゆり出家いり 山電白虹の口銀い雪

全とん一倭文 作らの布りり津とさるる一田うりとがく山

時披 しりひく 瓦寮 知客の使信又知信の客信と

諸生 りり 尚齒會 ちよとやまりり 志良波

標 標之とれし山うらま 山山人のうらま

辛氣 辛気又さき 級照 級照又さき

新造 新造又さき 人まを

白物 白物又さき 又白物

舟 舟又遊女もみ川竹

新艘 舟より又遊女もみ川竹

支機石 儀女のくりり 鋪口 令山のりりりり 泗溪

石 石のりりり 相 相のりりり 祥月

修好者 修好のりりり 結 結のりりり 衣

訛 訛のりりり 事長 事長のりりり 志

仕途 仕途のりりり 出 出のりりり 不 不のりりり 火 火のりりり 木

子母 子母のりりり 踏 踏のりりり 支梁

支梁 支梁のりりり

材木 下風(左傳) 下風(五) 下風(五) 棲遑(言)

のこられ 級戸風(甲臣被抄) 四天二天(田陽軍鑑) 晴羽檢(晴羽の)

羽とまきまき 暗(見の目) 卓(卓子) 卓(卓子) 卓(卓子)

これ花進の 執筆(り) 親句疎句(ら) 將(大将) 將(大将) 將(大将)

今これと月也 試樂(試樂) 試樂(試樂) 試筆(試筆) 試筆(試筆) 試筆(試筆)

衝篠而泣血(詩) 差理(差理) 種(種) 種(種) 種(種)

洒(洒) 洒(洒) 洒(洒) 洒(洒) 洒(洒)

絶(絶) 數鳴(數鳴) 拍浮(拍浮) 白(白) 徐(徐) 徐(徐) 徐(徐)

舌長(舌長) 痴(痴) 痴(痴) 痴(痴) 痴(痴) 痴(痴)

為有見(為有見) 重想(重想) 案(案) 案(案) 案(案)

精舍(精舍) 取次筋斗(取次筋斗) 齋(齋) 齋(齋) 齋(齋)

情強(情強) 清士(清士) 夷哥(夷哥) 夷哥(夷哥) 夷哥(夷哥)

有縁(有縁) 有縁(有縁) 有縁(有縁) 有縁(有縁) 有縁(有縁)

間浮檀金(間浮檀金) 間浮檀金(間浮檀金) 間浮檀金(間浮檀金)

柄香炉 柄の香炉 柄の香炉

籠 籠 籠 籠

曳哉 曳哉 泳草 泳草

被官 被官 副車 核椰毛車 飛彦人

番匠 番匠 烏帽子 夷曲 膝凡

俵穴 俵穴 一阵 肘呈 雨袖 姫

前 前 愁殺 蘿鬘 聖

擯 擯 非心 慈

敷 敷 失声 順和 羊歩

斜 斜 直物 日足

曝 曝 斜 日南北向 藥

飛柳 飛柳 脚夫 映

鄙却 鄙却 茨菰 梨 匹夫

彼岸太島 彼岸太島

柄の香炉 籠 籠 籠

泳草 泳草 泳草

核椰毛車 飛彦人

烏帽子 夷曲 膝凡

一阵 肘呈 雨袖 姫

愁殺 蘿鬘 聖

非心 慈

失声 順和 羊歩

斜 直物 日足

曝 斜 日南北向 藥

脚夫 映

鄙却 茨菰 梨 匹夫

彼岸太島

泥ドロ和ワ批言ヒコトいふと
あまのわをふかす

批ヒ尻シあうのすり
ぬかるヌカ徒タアタ
汝状ニシヤウ慵ヨウあひつヒツ獲ウケ

母モ居イ今イマあひつ
舊モトあひつヒツ接モムあひつヒツ
惆帳モウヤウ拳ケン

物モノ相サウ販バンと
物モノ相サウ販バンと
物モノ相サウ販バンと
物モノ相サウ販バンと

親オヤ采サイ親オヤ莫モクとト以ヨ切キ知チ加カ兼ケン仕シとト以ヨ以ヨの徒タ泛ハン經キョウ師シ徒タ

善ゼン知チ藏ザウ蟬セン声シヤウ小コ利リ大ダイ損ソン説セツ苑エン夫子フツとト

夫フ男ナン兄ケイ人ニン昔キヤク夫フ兄ケイとト又マタ以ヨ以ヨ方カタ僭ケン上ジョウとト又マタ以ヨ以ヨ方カタ僭ケン上ジョウとト

かまびすカマビス元ゲンの多タ背セ戸コ灣ワン扇セン錘ヅメ躑シユウ躑シユウ

世セ流リウ布フ俗ソクとト撮ソウ待タイ不フ堰エン敢ガン頃ケイ子シ

人ニン方カタ垂スイ示シ宿ソク世セ摺ソ衣イ師シ兄ケイ俗ソク子シ

水スイ破ハ兵ヘイ家カ隅ク赤セキ多タ集ジュ牙ガ婆ハ女メ商ショウ人ニン

不フ止シ肯ケン不フ止シ肯ケン不フ止シ肯ケン不フ止シ肯ケン

不フ止シ肯ケン不フ止シ肯ケン不フ止シ肯ケン不フ止シ肯ケン

種シュ姓セイ人ニン隨ズイ意イ不フ急キウ仰オウ強キヤウ

祖徠翁の云 進疾の人未枯りの事 須利 林言は戸子てつみ
 懐の字より 下配 寸斗 聖撰
 産の設あううのちふり 竹置あもる
 神志の 為使 生将 擲 菅搔 清攬ともち
 うつて 三修よも 質朴 和琴さる今
 け詞と修

○稱呼 向の人と其ちる

○公 其君と云ひて公と云ふ 君 才友明生る 子 通修り
 或は修りて君と云ふ類多し 本朝にて女君と云ふ 子 通修り

士 又農工の首 丈 長老の称 老 若 叟 老と云ふ
 又農工の首 丈 長老の称 老 若 叟 老と云ふ

大人 夫人と云ふ大人 哲 明 白 俊 先生
 夫人と云ふ大人 哲 明 白 俊 先生

英 師 先生 先生
 英人英士と云ふ 師 先生 先生

宗匠 宗匠 宗匠
 才子又才の如く子の如く 宗匠 宗匠 宗匠

亭 亭 亭
 亭 亭 亭

堂 堂 堂
 堂 堂 堂

扉 扉 扉
 扉 扉 扉

軒 軒 軒
 軒 軒 軒

按子の幼生を揚子江に流す
 首を
 寸許をば然るをわんて
 公を味するはよむは
 公を味するはよむは

映、新、致、事、典



詩学小成

芸閣先生著 全四册
初学詩と似て世をくくわらふが次

詩学楷梯

東里先生輯 全四册
韻字熟字のつゝほと加初心の近きと

頓悟詩傳

芸閣先生著 全六册
情他より通具と不安の多きと
とらひく便利とせ

唐明属對

全一册
附もどまぐらつ初傳他の便と

李杜聲韻選

全二册

増補地名箋

復堂先生著 全一册
日本の地名を集めて侍文章の助と
其系本を叙の故事とわけて
そのおとと

雅用紙

十三品 一袋入
唐の半切りの侍文章の系を揚子江に流す

文章小成

芸閣先生著 全六册
初心の文章と早くともおかしきと
子又席を編曲の難いこと
たれとてつらきと
初門は分りて元一とせしむ

尺牘彙材

全三册

唐土麻代沿革之圖

極まり
唐土麻代と世に枚りかき歴史を後

王元美尺牘

全一册

市隱草堂詩集

安達文中著 初編 五冊 二編 五冊 遺編 一冊

向風草

同著 初編 二冊 後編 三冊

内科撰要

宇田玄隨著 全十八冊 阿茶庵内科の療法方劑未考く 考して是を中外科の著しありき 考して是を中外科の著しありき 考して是を中外科の著しありき

解體新書

杉田玄伯著 全五冊 阿茶庵縮分の本としてくく 阿茶庵縮分の本としてくく

同約圖

同右 五枚 同右 五枚

俞穴便覽

鈴木文強作 全一冊 什灸初巻のよりとありき

方書摘要

全六冊 古方後世の方劑及丸散丹法を 多く採りて其の要法の如し

義教之十七帖

草書 全一冊

歐陽詢十字文

楷書 全一冊

十體十字文

全一冊

六體十字文

真草行篆隸 全一冊

歷代事跡圖

清江君幹著 一枚 世の遷都名嶽古蹟の地名古跡を悉く 以て記し 歴代の考證を大體添へ

地球一覽之圖

中根玄賢子著 一枚 各國と下目とを記し 各國の地名と 地帯とを記し 各國の地名と

萬國畧界方量總圖

一枚 地球の五世界と天の分野日月の行方 教と配ありして 二百里と眼下及る處

大明十三省之繪圖

一枚 大明の十三省と一枚として考く 考くとして考くとして考くとして

萬國新話

全五冊 万国の風俗草木物産を悉く 悉くして考くとして考くとして

畧畫式

蕙齋筆 全一冊 画くべき農工商の人物山あり魚あり 草木あり 鳥あり 獸あり 人あり 物あり 物あり

鳥獸畧畫式

同筆 全一冊 鳥獸の畧畫式 鳥獸の畧畫式

機巧圖彙

全三冊 後編 全五冊 機巧の圖彙 機巧の圖彙

此和書今の如く 物類の時計の 教として記す 物類の時計の 教として記す 物類の時計の 教として記す

平陵先生書論

全一冊

考法と意一く記初字筆の

大成年代廣記

兩面摺

和漢世と年代と和の唐去未を多を
分て安らじ正美神社佛客諸去物の
時代ことくくしてきゆるの年号記

日本地名便覽

兩面摺

國と郡と各古法城地陣官兵神
社仏客と各國の年月と之りく記

東都書林

申椒堂

江戸日本橋通室町三丁目

須原屋市兵衛板

農巧力車

近刻 全五冊

此去いさほくの形力車と元々
農業の先がふ入くく自在を働
くものむら

俳諧翌檜初編

出来

同

二編

近刻

于時安永第八己亥歲夏六發行

江戸

書林

室町目
須原屋市兵衛

